

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
肺癌(小細胞)CBDCA+VP-16+Durvalumab併用療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 生理食塩水50mL(プライミング用) ② 生理食塩水250mL+デュルバルマブ 1500mg 0.2又は0.22µmのインラインフィルター使用 調製後13時間以内に投与終了。 最終濃度は1~15mg/mLとすること。 体重30kg以下の場合、デュルバルマブは20mg/kg。 ③ 生理食塩水50mL(フラッシュ用) ④ グラニセトロン点滴静注バッグ1mg50mL+デキサメタゾン4.95mg ⑤ 5%ブドウ糖液500mL+エトポシド 100mg/m ² ⑥ 5%ブドウ糖液250mL+カルボプラチン(AUC5) カルボプラチンはAUC6も可。 ⑦ 生理食塩水50mL(フラッシュ用)		
day1	① アプレピタントカプセル125mg 抗がん剤投与1時間~1時間30分前に内服		
day2-3	① 生理食塩水50mL+デキサメタゾン3.3mg ② 5%ブドウ糖液500mL+エトポシド 100mg/m ² ③ 生理食塩水50mL(フラッシュ用)		
コメント	Day2,3 アプレピタントカプセル80mg内服 Day4 デキサメタゾン4mg内服(省略可) 4コース施行後はデュルバルマブ維持療法に移行。		

プロトコールに関する解説
<p>PS良好な進展型小細胞癌の方を対象として、プラチナ+エトポシド療法にデュルバルマブを上乗せすると全生存期間が延長(中央値13.0カ月vs 10.3カ月)、無増悪生存期間も延長(中央値5.1カ月vs 5.4カ月)すると報告されています。一方で免疫関連有害事象が増えるため、十分な注意が必要です。</p>